

令和7年度 郷土調査委員会 研究のまとめ

委員長 田口浩一郎(木曾町中)
副委員長 平原 稔久(開田中)
委員 古田 成美(大桑小)
武居 康太(南木曾小)
滋田 祐希(三岳小)

一 本年度の事業概要

1 郷土館の管理・運営

- ① 所蔵品の点検及び保存
- ② 郷土館内の清掃・整理
- ③ 「山の神」像の清掃・管理
 - ・ 7月28日(月)に実施
- ④ 教育会受入図書の整理
 - ・ 2月12日(木)実施予定

2 郷土館所蔵品の活用

3 文化財他機関との連携と協力

- ・ 木曾郡文化財保護連絡協議会研修総会(南木曾町) 5月23日(金)委員長参加

4 調査研究

- ・ 第56回郷土見学遠足の計画・実施
- ・ 期 日 令和7年8月5日(火)
- ・ 方 面 木曾中部方面
- ・ テーマ 木曾中部・木曾義仲や福島・日義地区の文化に触れよう
～木曾おもちゃ美術館を堪能し、木曾義仲ゆかりの地を巡り、地域で努力している企業を知ろう～

・ 見学場所(コース)

木曾福島駅(JR利用の方) → 木曾町中学校体育館横駐車場(集合・開校式) → 興禅寺 → 木曾おもちゃ美術館(館内見学・ひのき箸づくり体験・昼食) → テヅカ精機 → 義仲館 → 南宮神社 → 旗拳八幡宮 → (車内閉校式) → 木曾町中学校 → 木曾福島駅

・ 参加者 7名

・ 推進経過

計画立案	4月14日(月)
見学場所下見	6月3日(火)
パンフレット(案内状)発送	6月12日(木)
申し込み締め切り	7月11日(金)

二 事業の成果と今後の課題

1 有益であったこと

(1) 郷土館の管理・運営

- ① 教育会館清掃にあわせた郷土館の清掃・点検・保存処理。
 - ・ 郷土館清掃にあわせて短時間ではあるが、保存状況を確認しながら防湿・保存処理等行うことができた。
- ② 木曾町の福島郷土館に管理をお願いしてある「山の神」像の清掃と点検。
 - ・ 1年に1回、郷土館清掃に合わせて実施している。保存状況を確認しながら清掃を行うことができた。
- ③ 教育会館図書室での受入図書の整理作業。(2月12日(木)実施予定)
 - ・ 他郡市刊行物や寄贈図書を受け入れ、記録。図書室の書棚に整理保管。
 - ・ 翠山保管の過去の郷土見学遠足テキストの整理整頓。

(2) 郷土館所蔵品の活用

- ・活用方法について検討を重ねている。
- (3) 文化財他機関との連携と協力
 - ・各町村の文化財保護審議委員の方々とお話ができてよかった。
- (4) 調査・研究
 - ①第56回郷土見学遠足の計画・実施
 - ・今年度の計画も、感染症の対策をとりつつ、見学場所で説明をお聞きしたり、体験的な活動(本年度は箸づくり体験)を取り入れたりすることができた。7名の方に参加をしていただき、実施できてよかった。
- 2 今後の課題
 - (1) 郷土館の管理・運営
 - ①教育会館清掃にあわせた郷土館の清掃・点検・保存処理や「山の神」像の清掃と点検を今後も続けていく必要がある。
 - ②教育会館図書室での受入図書の整理作業を行っているが、図書室の棚がいっぱいになっており、受け入れ作業と合わせて書棚の整理作業も継続して行っていきたい。
 - (2) 郷土館所蔵品の活用
 - ①郷土館所蔵品の活用をどのようにしていくのかがいいか、検討を重ねていきたい。教育会館の移転の関係と合わせて郷土館がどのように変わっていくのか、情報を集めていきたい。
 - (3) 調査・研究
 - ①郷土見学遠足について
 - ・昨年度よりも早くから準備を進め、清音の会の先輩の皆さんにも丁寧に案内をすることができ、1名参加していただけた。夏期大学や高校の体験入学などの関係で、8月5日の実施となった。推進日程としてはよかったと思われるが、参加人数が少なかったことも含めて、実施日については検討していきたい。
 - ・「郷土見学遠足」は郷土を知る意味でも社会科等の教材化の上でも大変有効な機会であるので、特に初めて木曾に来ていただいた先生方を中心に呼びかけ参加者が増えるよう工夫していきたい。

三 次年度の予定

- ・来年度の郷土見学遠足は、木曾西部方面を予定している。